

がん化学療法業務到達度チェックリスト

氏名		到達度	① もう一息、② 理解している ③ 実践・活用できている ④ 他の職員（後輩等）に指導できる
番号	項目	評価者チェック欄 到達度①～④で評価	
1	標準レジメンの治療スケジュールを理解し、監査することができる		
2	各レジメンの必要な支持療法薬を理解し、監査することができる		
3	抗がん薬曝露対策(安全キャビネット、防護具、閉鎖式接続器具)を実践できる		
4	抗がん薬を調製することができる		
5	がん化学療法の初回指導ができる		
6	副作用を客観的指標(CTCAE)により評価することができる		
7	必要な支持療法薬を選択し、医師へ提案することができる		
8	経口抗がん薬のアドヒアランスを評価することができる		
9	抗がん薬の減量や延期の必要性について評価し、医師と協議することができる		
10	腫瘍性疼痛を客観的指標(NRS、FaceScale等)により評価することができる		
11	必要な鎮痛薬を選択し、医師へ提案することができる		
12	患者からの相談に対応することができる		
13	医師・看護師等の医療従事者からの相談に対応することができる		

評価者

到達度目安
・ 新人（入職1年以内）：3～5を③まで
・ 新人～2年目（病棟担当者）：1～8を③まで
・ 3年目以降：1～8,を④まで、9～13を③まで
・ がん化学療法室担当者：1～13を④まで
主にがん化学療法や緩和を担当する薬剤師の専門分野があるため7, 9, 10, 11, 13の④は担当部署にいる者または認定薬剤師以上を基本とする

総合評価・コメント